



西院小の窓

学校だより「前期学校評価」特別号

令和2年11月2日

京都市立西院小学校校長 國重初美

<http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/sain-s/>

1回目 学校評価の結果から

7月にご協力いただきました「前期学校評価」の集計結果と考察を報告させていただきます。今回も児童・保護者の方々・教職員による評価を実施いたしました。保護者の方々には、全体の約94%の方から回答をいただきました。

お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。この結果をもとに、学校の様々な取組を再確認し、よりよい学校づくりに生かしていきます。

<今年度の学校の取組> (文中の割合は肯定的な回答('Aよくあてはまる')・('Bあてはまる')を示す)

本校では、学校教育目標「自ら考え行動し、夢に向かって進む心豊かな子どもの育成～一人一人が輝く西院の子～」の実現のため、すべての教育活動の中で主体的・対話的で深い学びを実践し、児童の自己指導能力を育成することを目指し取り組んでいます。そして、生徒指導の三機能と言われる「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的な人間関係を築く」を大切にし、人権教育を基盤とした取組を進めています。

【めざす子ども像1】自ら進んで学習し、互いに高め合う子(確かな学力)について

⑧「自分で課題を見つけて家庭学習に取り組んでいる」では、肯定的な回答が保護者61.6%、児童79.7%と課題の残る結果となりました。

学校の宿題には、ほとんどの子どもたちがしっかりと取り組めているので、「自分で課題を見つけて」という部分に課題があるのではないかと考えられます。学校では、3年生以上で宿題の自主学習を実施し、子どもたちが自分で課題を考えて主体的に学習に取り組むことができるようになっています。よい自主学習ノートを掲示し、互いのよいところを学ぶなどの工夫を行い、この取組を充実させることで、自分で多様に課題づくりをし、主体的に学び、探究する喜びを感じる子どもたちを、育てていきたいと思います。

⑨「進んで読書に取り組んでいる」に関しては前年度に比べ大きく落ち込む結果となりました。(児童-14.2%、保護者-4.0%)

学習に対する意欲・関心につなげていくためにも朝読書以外に本に親しむ機会を増やすこと、読書ノートの活用や、教科指導にも資料などで活用するなど、読書を通して様々なことに関心をもったり、学んだことを他の教科などに活用したりできる力を付けていきたいと考えます。また、学級文庫や図書館を活用して本に親しむ機会を多くしていきます。京都市の図書館なども利用して、ご家庭でも本に親しめる環境作りにご協力をお願いいたします。

【めざす子ども像2】互いに認め合い、自分も友達も大切にする子(豊かな心)について

⑩「学校が楽しい」という質問に対して、児童の肯定的な回答は90.4%(-0.7%)、保護者は94.8%(+1.6%)でした。児童・保護者共に高い数値でした。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校から始まり、学校から離れる期間が長く、心配していたのですが、地域・保護者の皆様のご協力もあり、ほとんどの児童・保護者の方が昨年度と変わらない肯定的な回答となり、安心いたしました。しかし、肯定的でない回答をした児童も10%います。「いじめアンケート」や「教育相談」週間に、なかなか伝えられなかった思いや悩みを聞くことで、教職員はもっと子どもたちに寄り添うことができます。今後も丁寧に個別に関わり、子どもたちが「ここにいてよかった」という自己存在感を高め、「みんなといると安心」「高まる自分を感じる」など、共感的な人間関係を築き、さらに「楽しい」と感じる学級・学校づくりを進めていきたいと考えます。

⑪「友達のよいところを見つけ、友達を大切にしようとしている」は児童・保護者ともに95%を超える肯定的な回答で、前回との比較でも児童+1.1%、保護者+0.8%高くなっています。本校はすべての教育活動において、人権教育を基盤とした取組を行っており、周りの友達のよいところにも目を向けるようになっていると思われます。

しかし、⑪「自分のよいところに気付いている」では、児童-6.1%、保護者-3.3%と昨年度より落ち込んでいます。今まで子どもたちのよさを認めてくださっていた地域の方々、教職員や友達との関わりが少なくなったことも影響しているのではないかと考えられます。周りの友達が気付いている友達のよいところを伝え合う機会を学校生活の中でも作るようにし、自他共に大切にできる児童を育んでいきたいと考えます。

⑫「自分から気持ちのよいあいさつをしている」は、(児童+1.7%、保護者+7.8%)とともに前回を上回る結果となりました。「西院の子心でつなぐ5つのやくそく」の1つである「心のかよったあいさつ」を校内でも、学校に来られた方や保護者の方々、先生に対してマスクをつけながらでも、目と目を合わせた心の通ったあいさつをするよう働きかけています。引き続き学校と家庭が協力してあいさつの輪を広げ、温かい気持ちを高める児童を育む西院の地域にしたいと考えます。

【めざす子ども像3】身も心も鍛え、命を大切にする子(健やかな体)について

学校では、6月の教育活動再開以降、新型コロナウイルス感染症対策として、①「毎朝」をはじめ、活動中の丁寧な健康観察の実施、②授業中や登下校時のマスクの着用、③登校時や休憩時間、給食時間、清掃時間等のこまめな手洗いの実施、④多くの子どもたちが手を触れる箇所の毎日の消毒、⑤席配置の工夫、換気の徹底等「3密」回避、などの対策を行っています。ご家庭でも、いろいろな場面でお声掛けいただいていることもあり、子どもたちは“新しい生活スタイル”的実践に進んで取り組んでくれていることがアンケートの結果からも分かります。

学校でも児童やすべての人の命と健康を守りながら“新しい生活スタイル”で学校生活を送っています。⑬「こまめに手を洗っている」では、児童・保護者ともに90%をこえる肯定的な回答で、⑭「マスクをつけて、咳エチケットに心がけている」では、児童96.9%、保護者97.4%というさらに高い肯定的な回答でした。登校時の様子を見ても、多くの子どもたちが、暑い中でもしっかりとマスクをしてくれていました。新型コロナウイルスについては、まだまだ予断を許さない状況が続いているが、今後も引き続き“新しい生活スタイル”を実践していく必要があります。学校でもマスクを着用し、身体的距離を保ちながら、思いやりのある行動を体現化していきます。

⑮「マスクをつけて、咳エチケットに心がけている」では児童の肯定的な回答は85.1%(-1.2%:前年12月比以下同様)保護者は81.7%(-5.8%)でした。

臨時休校等もあり、生活リズムが乱れている面があるのではないかと思います。学校でも、長期休業明けには、生活点検を実施し、自分の生活を振り返る機会を設けています。自分の生活をよりよくするよう働きかけています。

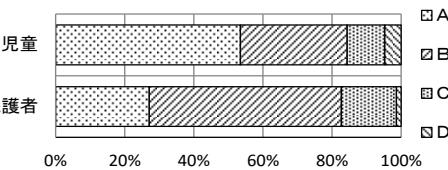
<保護者による学校(自由記述)・教職員に対する評価結果から>

学校・教職員に関する質問については、保護者アンケートの⑯「子どもの力を引き出すことを心掛けた授業をしているか」⑰「子どもが安心して学べる学校・学級になっているか」⑱「整理・整頓された学習しやすい環境になっているか」の項目で前回同様、95%前後の高い評価をいただき、ありがとうございます。しかし、1学期は参観日や学級懇談会が行われなかったため、学校や児童の様子が分からぬというご意見も多数いただきました。また、マスクの着用の仕方、手洗いの仕方、消毒液の設置、熱中症対策や給食時間の取組、登下校の安全面について不安を感じるというご意見もいただきました。「もし、コロナに感染したら学校や地域の人から何と言われるのか心配です」など、コロナ禍の状況が、不安だという心情もお書きくださいました。コロナウイルス感染症に対する不安から陥りやすい差別や偏見等についても教職員一同考え、共通理解し、児童とともに適切な行動がとれる西院校にしていきたいと考え、人権朝会で話題に取り上げるなどしています。今後も児童が安心して通える学校にするとともに、児童が主体的に学習に取り組み、友達との対話から深い学びにつながる授業を心掛けています。そして、一人一人を大切にした教育を全教職員が一致した姿勢で細かに、声かけをしていきます。これからも保護者・地域の皆様のご意見を大切にしながら、学校・学級での取組を充実させていきます。

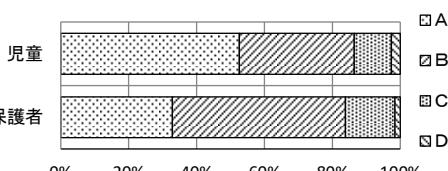
<学校運営協議会の皆様のご意見>

豊かな心を育てるには、読書が大切だと感じている。読書離れが進んでいるが、小さい頃から親しむことが必要であり、保育園・幼稚園とも連携していくことが重要ではないだろうか。様々な地域行事が中止となり、子どもたちとの接点が減っているので心配している。臨時休業の影響で学力の格差が生まれているのではないかとも気になっている。コロナ禍の中で、どのように子どもたちに関わっていくのかを考えしていく必要がある。学校と協力して、できることを考えていきたい。

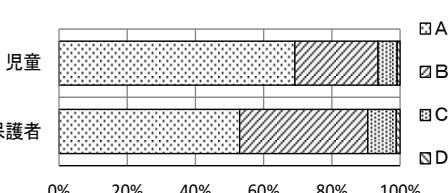
⑪ 自分のよいところに気付いている。



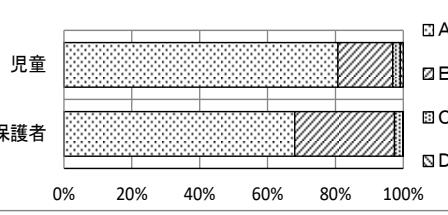
⑫ 自分から気持ちのよいあいさつをしている。



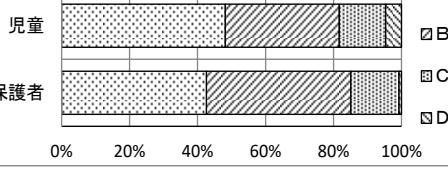
⑯ こまめに手を洗っている。



⑰ マスクをつけて、咳エチケットに心がけている。



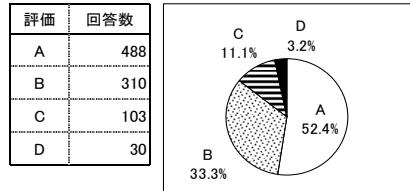
⑯ 早寝・早起き・朝御飯・排便など基本的な生活リズムや健康に気を付けている。



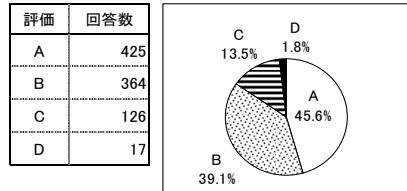
児童アンケート

(A…よくあてはまる, B…あてはまる, C…あまりあてはまらない, D…まったくあてはまらない)

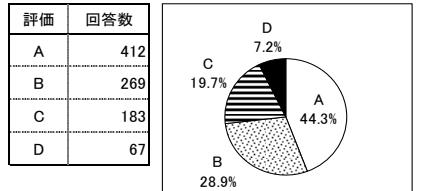
① 夢や憧れをもって、目標に向かって努力をしている。



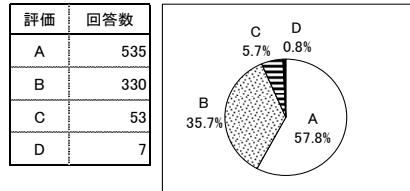
② 分かるまで、粘り強く学習をしている。



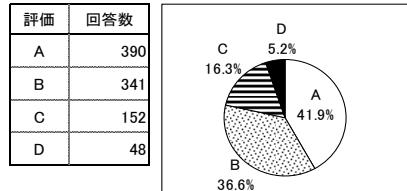
③ 進んで本を読んでいる。



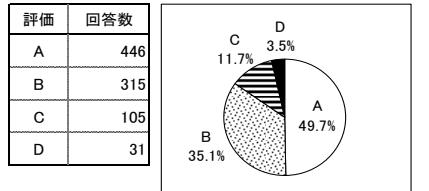
④ 先生や友だちの話をよく聞いて、学習に取り組んでいる。



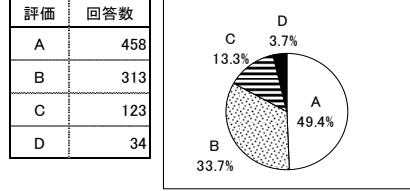
⑤ 自分のおもいや考えを、友だちや先生に伝えている。



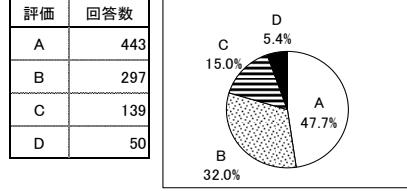
⑥ 話し合い活動では、友だちの新たな考えを知り、互いに認め合ったり、高め合ったりしている。



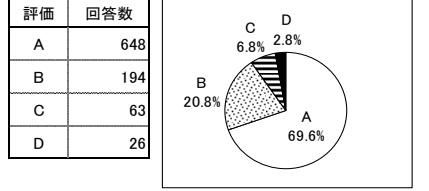
⑦ 自分のおもいや考えを、目的に合わせて書いている。



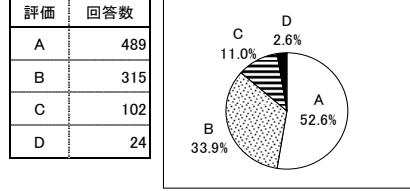
⑧ 自分で課題を見つけて家庭学習に取り組んでいる。



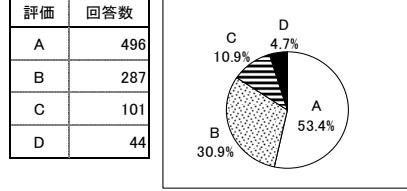
⑨ 楽しく学校生活を送っている。



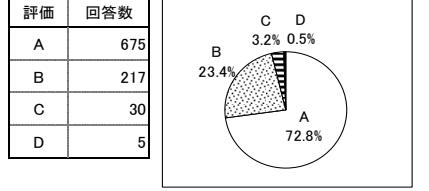
⑩ 自分から気持ちのよいあいさつをしている。



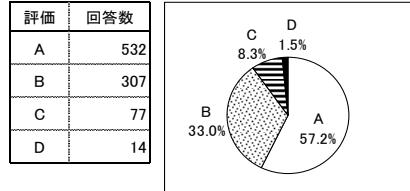
⑪ 自分には、よいところがある。



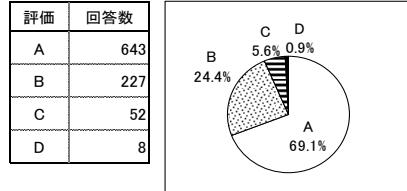
⑫ 友だちのよいところを見つけ、友だちを大切にしようとしている。



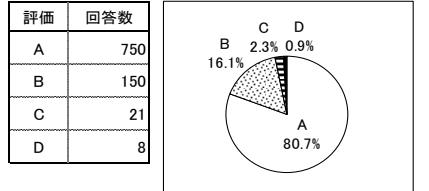
⑬ ものを大切に使おうと整理・整頓したり、心をこめてそうじをしたりしている。



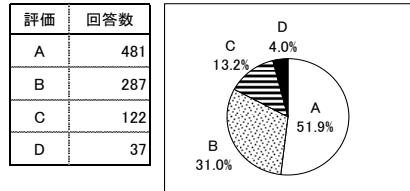
⑭ こまめに手を洗っている。



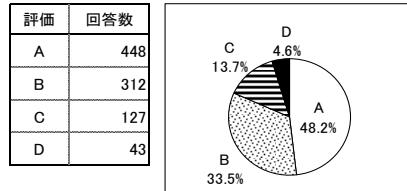
⑮ マスクをつけて、咳エチケットに心掛けている。



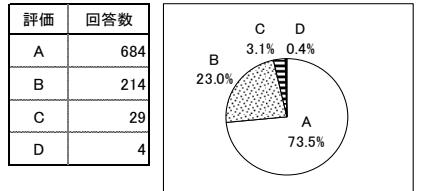
⑯ 進んで体を動かしている。



⑰ 早寝・早起き・朝御飯・排便などに気をついている。



⑯ 交通や学校のルールを守って、安全に生活をしている。



保護者学校評価～家で大切にしていること～集計

回答率: 93.6%

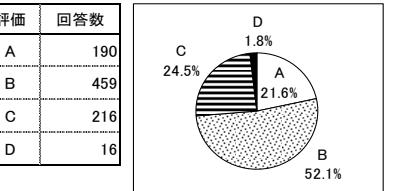
家で大切にしていること ○の割合

評価	回答数	家で大切にしていること ○の割合
① 子どものよさやがんばりを、認めて、励ましている。	88%	⑪⑫ 子どものよい行動をほめている。
② 子どもが物事に最後まで、取り組めるように、励ましの声をかけている。	84%	⑬ 子どもに家族の役割分担がある。
③ 読書の時間を設けて、子どもが読書に向かうように、働きかけている。	34%	⑭⑮ 子どもの健康や体を大切にすることを心がけている。
④～⑥ 学校であったことを聞き、子どもの対話を大切にし、子どものよさを認め、励ましている。	89%	⑯ 子どもが体を動かすように、働きかけている。
⑦ 子どもが、ノートやプリント・パソコンなどを使って表現するように、働きかけている。	43%	⑰ 子どもの基本的な生活リズムが身に付くよう、条件を整え家族で取り組んでいる。
⑧ 子どもが、課題を見つけて家庭学習に取り組めるように、アドバイスをしたり、学習環境を整えたりしている。	66%	⑯ 子どもに安全な生活態度が身に付くように取り組んでいる。
⑨ 学校の様子を子どもと一緒によく話をしている。	79%	⑲⑳ 日頃から学校の様子について子どもと対話をしている。
⑩ 子どもが人に対して、思いやりの心が育つように、働きかけている。	85%	㉑㉒ 学校から配られるプリント(学校だより・学年だより・保険だより・給食だより等)やホームページを見ている。

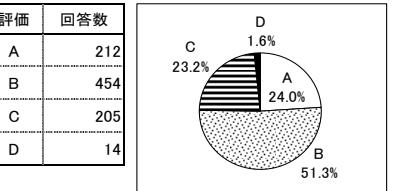
保護者学校評価～保護者から見た子ども～集計

回答率: 94.4%

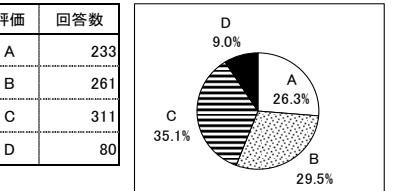
① 夢や憧れをもって目標に向かって努力している。



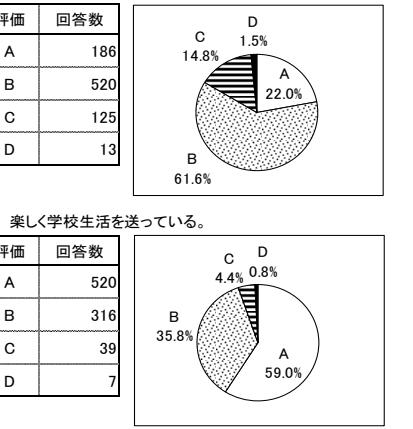
② 分かるまで、粘り強く学習をしている。



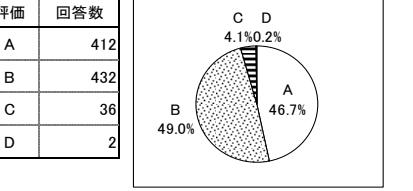
③ 進んで読書に取り組んでいる。



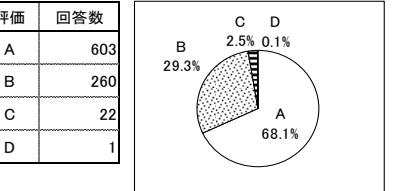
⑤ 自分のおもいや考えを、友だちや先生に伝えている。



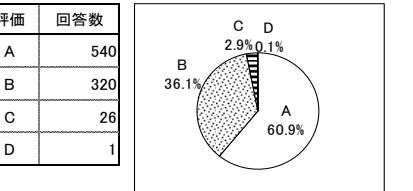
⑥ 話し合い活動では、友だちの新たな考えを知り、互いに認め合ったり、高め合ったりしている。



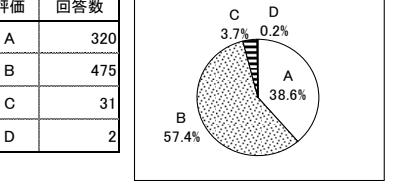
⑨ 楽しく学校生活を送っている。



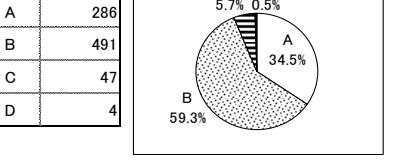
⑫ 友だちのよいところを見つけ、友だちを大切にしようとしている。



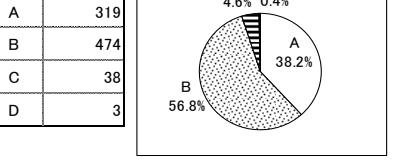
⑯ 交通や学校のルールを守って安全に生活をしている。



⑯ 進んで体を動かしている。



⑰ 子どもの力を引き出すことを心がけた授業をしていますか。



㉑ 学校・学年・学級の方針や取組の様子をよく分かるように伝えていますか。

